

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 招集について

(1) 招集はトラック競技・フィールド競技ともに、100mフィニッシュ地点の招集テントで行う。

(2) 招集完了時刻は競技開始予定時刻を基準とし、下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒高跳	70分前	60分前

(3) 招集の手順

- ①競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。
- ②リレーと個人種目の招集時刻が重なる場合には、本人による2種目同時招集を認める。フィールド競技の開始時刻に遅れたり、競技から離れたりする場合には、フィールド審判に申し出ること。
- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

3 競技運営について

(1) 団体受付を行う。顧問、臨時部活動の学校の校長が認めた外部指導者（コーチ）や外部指導者、地域クラブのコーチは、競技場到着後、速やかに本部にて受付を済ませること。

(2) 競技運営上、競技日程を変更することがある。

(3) タイムにより次のラウンド進出者を決めるときに、同記録者がある場合は、写真判定主任が1/1000秒の実時間を判定して、進出者を決める。それでも決められない時は、同記録者本人またはその代理人が抽選を行う。

(4) 本大会で7位入賞者（7名）は、県総体へ出場することができる。7位同記録の場合の順位決定の方法は以下の通りとする。

- ・100m、200m、400m、100mH、110mH、4×100mR、低学年4×100mRでは、同記録（1/1000）の競技者による決定戦を行う。
- ・800m、1500m、3000mでは、競技者本人またはその代理人が抽選を行う。
- ・フィールド競技は1位と7位を決定するために、ジャンプオフ、スローオフを行う。

(5) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する。ただし、スタート動作における警告は2回目でその種目のみ失格とし、競技会からは除外されない。

(6) 低学年リレーの走順は、2年、1年、1年、2年とする。

(7) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所（競技者係）へ提出する。**ただし、男女4×100mRは8:00までに提出すること。**氏名に続けて「学年」を記入すること。

(8) リレーの全てのラウンドにおいて、リレー申し込みの有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかにしか申し込み及び出場することはできない。競技規則 TR24.10 に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。なお、それぞれのリレーに申し込みのあった6名以内

の競技者は、申し込みをしたリレーにしか出場できない。

- (9) リレー種目においては、デザインや配色が同一であれば、タイプの異なるユニフォームの着用を認める。地域クラブの場合も同様とする。
- (10) 走高跳、棒高跳の競技開始の高さ、練習試技の高さ、バーの上げ方については、跳躍審判員が協議し、フィールド審判長が決定する。
第1位、愛知県総体出場者を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。
- (11) リレー種目のマーカーの使用は1か所とする。マーカーは主催者で用意するが、各団体で用意したマーカーを使用してもよい。
- (12) 走幅跳、砲丸投、円盤投では、試技3回の記録の上位8名はさらに3試技を行い、順位を決定する。
- (13) 所属団体で作成したユニフォームや体操服等を着用し、他の団体のユニフォームを着用して出場しないこと。
- (14) アスリートビブスは各団体で登録された愛知陸協登録ナンバーを使用し、ユニフォームの胸・背部に確実につける。跳躍種目については、背部または胸部のみでもよい。
- (15) 800m以上のトラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、ランニングパンツの右側やや後方につけること。

4 ウォーミングアップについて

- (1) 事故防止のためバトン、リレーマーカー、ポール以外は個人またはチームの物を使用しない。
- (2) 競技場内での逆走はしない。
- (3) 8:50までのトラックの利用は、1・2レーンは周回（長距離）用とする。
ホームストレートの3～6レーンはスタート練習、7、8レーンはハードル練習とする。
バックストレートの3～8レーンは直線走可能とする。
第2コーナーと第3コーナーはバトン練習可能とする。第4コーナーでのバトン練習やこの付近からの流しなどは禁止とする。
- (4) 砲丸投は芝生内の指定した場所内で、円盤投は投擲サークル内で、招集開始前の30分間、競技役員の指示のもと、投擲練習を行うことができる。
- (5) 競技場での競技前の跳躍・投擲練習は競技役員の指示に従って行うこと。
- (6) 8:55～9:10の時間については競技準備のため、競技場内でのアップを行わない。
- (7) 競技開始後も競技場内でのウォーミングアップを可能とする。ただし、競技に支障が出ないように配慮して行うこと。大会本部や係員からの指示があった場合は速やかに従うこと。
- (8) ハードル競技についてはハードル設置後に練習ができる。スタート位置に戻る際はトラックの外側に戻る。

5 その他

- (1) ウォーミングアップのための雨天走路の使用については、危険防止のため禁止とする。
- (2) 救護本部は、競技場内医務室に設置する。
- (3) 記録やトラック競技の決勝スタートリストはストレッチルーム付近に掲示する。
- (4) 記録速報サイトを使用し、記録や決勝進出者等の情報を共有、公開する。
- (5) 団体ごとの控え席は、スタンド2階の指定した範囲とする。
- (6) 保護者や一般の方は、100mフィニッシュ地点付近のスタンド2階と芝生席（バックストレート付近以外）で観戦すること。スタンド2階の最前列の柵の前で立っての観戦は、後方の方の観戦の妨げとなるため禁止とする。
- (7) 臨時部活動の学校の校長が認めた外部指導者（コーチ）が引率・監督をする場合は、当日受付にコーチ確認書（校長承認書）を提出し、コーチのタグを受け取り、身に付けること。
- (8) 選手及び団体関係者は、スマートフォンやビデオ、通信機器、音楽再生機器等を招集所、競技場内に持ち込むことはできない。撮影については以下を参照すること。
 - ・選手の人権保護・肖像権保護について理解し、競技会運営に協力して撮影すること。
 - ・グラウンドレベルでの撮影は、選手、顧問、コーチ、保護者を問わず禁止とする。
 - ・各学校が認めたカメラマンは、受付にて申請を行い、ビブスを着用して入場すること。
 - ・観客席からの撮影制限

観客席での撮影を禁止するエリア、シチュエーションは以下の通りとする。

- ◆各種目のスタート後方
- ◆スターティングブロックの足合わせ中や試技を待っている間
- ◆走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方
- ◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

6 控え席

